

○提案内容

**(1) 実現したい都市のビジョン**

○中心市街地における回遊性の向上

水戸市の中心市街地及びその周辺には、徳川斉昭公により整備された日本三名園の一つに数えられる偕楽園や、日本最大の藩校である弘道館、市街地に隣接する公園としては最大規模の千波公園、美術館・コンサートホール・劇場からなる現代芸術の複合施設であり日本国内だけでなく海外からも訪れる水戸芸術館といった魅力ある歴史的資源や施設がある。

本エリアの中でも、弘道館・水戸城跡周辺地区においては、水戸城歴史的建造物である大手門や二の丸角櫓等の復元整備とともに、歴史・景観ロードの景観整備や世界遺産登録に向けた取り組みを進めている。また、平成31年4月には、プロバスケットボールチーム茨城ロボッツの新ホームアリーナとなる東町新体育館がオープンを予定しており、さらにはコンベンションの拠点として2,000人規模の大ホールを有する新市民会館の整備も進めている。

本市においては、平成28年に認定中活を策定するなど、中心市街地の活性化に取り組んでいるところであるが、このような中心市街地各所に点在する魅力的な資源をより効果的に活用して、都市核となる本エリアのさらなる機能強化を進め、求心力を高めていくため、様々なデータの解析をもとに、歩きやすい環境整備などをはじめ、中心市街地における回遊性向上などを推進していきたい。

**(2) 新技術の導入により解決したい都市の課題**  
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください(複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください)

解決する課題のイメージ	課題の分類
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸市の中心市街地は東西に細長い形状で(水戸駅～大工町交差点間(約2km))、また中心市街地及び周辺の各施設の距離が遠い(偕楽園～弘道館(約2.8km)、偕楽園～水戸芸術館(約1.3km)、水戸芸術館～水戸駅(約1.5km))ため、回遊の阻害要因となっている。</li> <li>・観光客は、偕楽園や弘道館には訪れるが、中心市街地内の他の場所に行かない。</li> <li>・市民は、通常の消費行動において、水戸駅ビルや泉町の水戸京成百貨店に行くことはあるが、その周辺に立ち寄るような魅力的な場所が少ない。</li> <li>・市民の主な移動手段は車であり、バスなどの交通手段分担率は年々減少している。また、目的地付近の駐車場まで車で移動し、予定が終わればそのまま車で帰る傾向がある。</li> <li>・中心市街地では、これまで様々な活性化策を講じてきたが、それぞれの施策についての効果の十分な検証ができていない。</li> </ul>	(ア)

**(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)**

**(2) 分析・予測技術**

・近隣の駐車場に駐車した場合と、周辺の(少し離れた)駐車場に駐車した場合のイベント・ライブ会場へのアクセス時間(来場・退場)を分析

(イベント・ライブ・・・水戸芸術館イベント、百貨店のイベント、まちフェス(中心市街地のメインストリート(国道50号)を歩行者天国にして実施する、商店街団体や市民との協働によるイベント)、東町新体育館(茨城ロボッツホームゲーム、その他全国大会等)等)

・交通系ICカードデータ等を活用した移動行動の分析

・電子決済データ等を活用した買い物行動の分析

※茨城県では平成30年度より自治体公共料金の電子マネー決済の取り組みを進めている。県民の利便性向上だけでなく、インバウンド誘致にも効果が期待される。

**(4) データプラットフォーム**

・市内を運行する路線バスは、バス事業者4社により約200系統を運行。

・使用できる交通系ICカードデータは、事業者により全国10種類の交通系ICカード(10カード)と事業者独自のハウスカードに分かれている。

・茨城県では平成30年度より自治体公共料金の電子マネー決済の取り組みを進めている。

・交通系ICカード、電子決済のデータ連携を促すプラットフォームを構築する。

**(4) 解決の方向性(イメージでも可)**

**○歩きやすい環境(道路)の整備**

・公共や民間のビッグデータを活用し、まちなかの施設間(借楽園、弘道館、水戸駅、水戸芸術館など)を回遊する歩行空間の整備計画を策定、計画に基づき整備を進める。また、整備効果については順次検証し、計画の推進に活用する。

**○人が集まる業態(店舗)の誘導**

・キャッシュレス決済データ等を活用し、来街者の属性・場所などから、回遊を促す業態(店舗)の誘導を図る。

**○バス路線の再編**

・交通系ICカードデータを活用し、中心市街地に過度に集中している路線バスの振り分けをはじめとする効果的な運行ルートを検証し、将来のバス路線の再編に活かす。

・バス事業者間のデータプラットフォームを構築し、民間アプリの開発を誘導する。

**○まちなかのイベント・ライブの混雑時における最適な交通行動の案内**

・近隣の駐車場に駐車した場合と、周辺の(少し離れた)駐車場に駐車した場合のイベント・ライブ会場へのアクセス時間(来場・退場)を分析し、最適な交通行動を案内する。

(イベント・ライブ・・・水戸芸術館イベント、百貨店のイベント、まちフェス(中心市街地のメインストリート(国道50号)を歩行者天国にして実施する、商店街団体や市民との協働によるイベント)、東町新体育館(茨城ロボッツホームゲーム、その他全国大会等)等)

**(5) その他**

**○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)**

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
水戸市都市計画部都市計画課	小田切	029-232-9206(課直通)	urban.plan@city.mito.lg.jp